
第 18 回 環境心理生理チュートリアル

「実験のデザインの作法～その実験、大丈夫!?!～」

主催：一般社団法人日本建築学会 環境工学委員会 環境心理生理運営委員会 環境心理小委員会

日時：2018 年 9 月 18 日（火） 13:30～17:30

会場：建築会館 301+302 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

心理評価実験によって収集したデータは統計分析を行い、比較したい条件間やグループ間の差異を見出すなどのアプローチをとることが多いでしょう。実験によって得られたデータから条件間の差を適切に説明できるようにするためには、データ分析における統計学の知識や方法論の理解が重要ですが、実験計画を立案する段階で予めデータの分析方法まで見据えておくという周知な準備が不可欠です。しかし、このような重要なポイントは論文や教科書には記載されにくく、初学者が心理評価実験に取り組むと、データ分析の段階になって悩み始めることがしばしばみられます。

そこで今回は「実験のデザインの作法」をテーマとしてチュートリアルを開催します。環境心理生理分野の新進気鋭の研究者に、実験計画の段階でのポイントや、データの分析方法、考察に至るまで、具体的な研究事例を用いながら研究を成功に導くためのポイントを分かり易く解説して頂きます。講演後には参加者の皆様が個々にお持ちの疑問を会場にて募り、お答え致します。卒論や修論を控えた学生諸君、実験研究を業務に活用しようとお考えの実務者や関連分野の研究者の方々など、多くの皆様の参加をお待ちしています。

<プログラム>

1. 開会の挨拶 辻村 壮平（茨城大学）

2. 講演・解説

—13:30～14:20—

2-1. 評価実験を実施するにあたって—実験計画からデータ分析まで—

小崎 美希（お茶の水女子大学）

—14:20～15:10—

2-2. 実験研究の実例の紹介—実験で困ったこととその対応—

佐藤 泰（早稲田大学）

<休憩（20分）>

—15:30～16:20—

2-3. 評価実験におけるサンプルサイズ・効果量

白川 真裕（日本大学）

—16:20～17:30—

3. 質疑応答：環境心理調査よろず相談

講演への質疑及び参加者の皆様が個々にお持ちの疑問を会場にて募り、お答えします。

参加費：会員 2,000 円，会員外 3,000 円，学生 1,000 円（資料代含む，当日会場でお支払いください）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：本会 HP「催し物・公募」よりお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615089>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野 TEL：03-3456-2057 E-mail：isano@aij.or.jp